

カブの生長段階による農薬吸収特性の解明

【研究概要】

小カブから大カブまで出荷形態が異なるカブでは、登録のある農薬が大きさに関係なく散布されるため、収穫物のサイズによって残留挙動が異なることが懸念される。そこで、随時どりができる品種「スワン」で小カブと中大カブを比較し、農薬残留性を明らかにすることを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の3つ成果が得られた。

- (1) 今年度供試したシアゾファミドについては、葉と根ともに基準値と比較し十分に低値であった。